

令和2年度 岡崎市自殺対策推進協議会 議事録

日時	令和2年8月31日（月）新型コロナウイルス感染防止のため書面会議にて開催
出席委員	三治宏司、東原健人、青木裕明、岡田京子、平田進、竹中秀彦、林智栄、伊藤義美、田中真理、佐藤尚美、肆矢勝弘、高松宏文、成田敦之、高須理有子、山本京子、花井幸二、山崎雄二、杉浦千賀代、堀尾賢一、深津篤
事務局	学校指導課、中消防署本署、家庭児童課、商工労政課、障がい福祉課、地域福祉課、長寿課、岡崎市民病院地域医療連携室、岡崎市障がい者基幹相談支援センター、福祉の村相談支援事業所、健康増進課

【次第】

1 議題

- (1) 会長の選出について
- (2) 岡崎市自殺対策推進協議会作業部会の構成について
- (3) 令和元年度自殺対策事業報告について
- (4) 令和2年度自殺対策事業計画案について
- (5) その他・意見交換

【議題】

- (1) 会長の選出について

承認する	20人	推薦する	0人
------	-----	------	----

よって、会長の選出については、過半数の承認を得たため、岡田京子委員を選出。

- (2) 岡崎市自殺対策推進協議会作業部会の構成について

承認する	20人	否認する	0人
------	-----	------	----

よって、過半数の承認を得たため、別紙：岡崎市自殺対策推進協議会作業部会委員名簿のとおり、構成を変更。

【御意見等】

○花井委員

自殺対策は、(1)自殺の予防、(2)自殺の防止、(3)自死遺族支援が組み合わさった施策だと考えます。より専門的かつ効果的な対策の推進を図るならば、「自死遺族対策作業部会」の設置も部会構成として要望いたします。

○事務局

岡崎市では、自殺対策計画における6つの重点対策のひとつとして「自死遺族への支援」に取り組んでいます。今後の取組として、関係機関職員に対して自死意遺族の理解を深めるための研修会などの開催を検討しています。部会構成についても、今後の参考にさせていただきます。

○成田委員

変更後の部会構成はどうなりますか。

○事務局

別紙：岡崎市自殺対策推進協議会作業部会委員名簿を御覧ください。

(3) 令和元年度自殺対策事業報告について

承認する	20人	否認する	0人
------	-----	------	----

【御意見等】

○杉浦委員

いろいろな取組をされていて努力が見られますが、私は「いのちの電話」くらいしか知りませんでした。それだけ取組みをしても、一般的に耳や目に入ってこないのはなぜかを考えるべきだと思います。

○事務局

御意見のとおり、自殺対策事業の取組において、周知の在り方は課題のひとつであります。広く市民の方に周知できるよう、今後も取り組みやすいところから活動を広げてまいります。

○深津委員

資料3「令和元年度自殺対策事業報告」6頁、高齢者対策の「オ 地域に根ざした普及啓発」にある、「8月26日 西藏前接骨院での相談窓口チラシの配布 7枚」や「9月25日 日常生活自立支援事業支援員会議での相談窓口チラシ配布 4枚」など、非効率に映る活動がありますが、どのような状況なのでしょうか。

○事務局

高齢者対策では、地域包括支援センターとも連携しており、センター職員が地域に根差した啓発活動の一環として、業務で訪れた場所で可能な範囲としてチラシ配布も担っています。相談先の周知については、今後もより効果的な取組を検討していきます。

(4) 令和2年度自殺対策事業計画案について

承認する	20人	否認する	0人
------	-----	------	----

【御意見等】

○山崎委員

感染防止のため、多くの事業が中止になっています。必要性の高い事業ですので、今後の対策が求められそうです。

○事務局

人を集めての出前講座や研修会が実施できない状況であるため、代替の方法で開催

することを検討しています。

(5) その他・意見交換

○平田委員

新型コロナウイルスに関して、うつ、自殺へのリスクが高まっていると予想しています。

○事務局

保健所としても、同様に考えており、相談先の周知等について、現状に則した効果的な取組を検討していきます。

○佐藤委員

(情報提供) 今年度の精神保健福祉センター主催で行う「自殺防止地域力強化事業研修」は、ゲートキーパー養成に関する内容となっています。

○高松委員

警察業務においては、様々な場面で、自殺企図者、それに至らないまでも危険を含んでいる方を取り扱うなど、多種多様な対応があるが、一時的な対応の後、単独で帰宅等させるにはリスクが高い方がほとんどであり、事後の引継ぎ先、支援者や監護者を探すのに苦慮しているところです。身寄りのない方も多く、発生が夜間や休日が多いなど、といった点も今後の対策として考慮いただけるとありがたいです。

○事務局

今後も、地域支援について、県保健所や関係機関と連携の継続をしていきます。

○杉浦委員

自殺に関することが相談して解決できる機関があるということを、簡単に我々一般人が目に見える形に広げていくべきだと思う。「相談できる機関があるから悩みを相談しませんか」というものを見ることで思い留まることもあります。広めていく必要があり、広めるには、メディアもどんどん利用していくことも必要。先日、散歩中、通りかかった羽根小学校の外囲いに、交通安全の面白い標語が掲げてあるのに気づきました。歩いていく道々、読んでいけるように通り沿いに掲げてあって、ちょっと面白かったです。この面白さ、クスッと笑いが出れば、その気(自殺)もとっぱらえる気がします。方言で書いてあって、「じゃんだらりん」を取り入れた標語でした。「見てみりん 信号は赤に なつとるじゃん」など。これを広く募集して、街のいたる所にちょいちょい掲げていくのも自殺を思いとどまらせる方法の一つではと思います。とにかく、目につくように、一般の人がなじめるような何かを作って、どんどん外へアピールする必要があると思う。事業報告を見ると、啓発物を配ったり、講演会をしたり、いろいろ活動をされていますが、私自身がこのことを全く知りませんでした。それだけ広まってないということであり、もっと身近で目につくようにしていくべきだと思います。

○事務局

相談先が書かれたカードやポスターを作成し、郵便局やコンビニエンスストアなど広く市民の方に見ていただけるような場所での周知や、大学の入学式で相談先の書かれたカードを配布するなど、実現可能な取組を進めているところです。今後、さらに市民の方に周知できるよう御意見を参考にさせていただきます。

○堀尾委員

計画書のP.108「3. 施策の評価及び管理」に着目しています。目標を達成するため、ゲートキーパーの増員が重点対策ですが、具体的にゲートキーパーの「あんな活動、こんな活動」が自殺減に効いたと評価できるといいです。

また、ゲートキーパーとして活躍してほしい職業には、歯科衛生士、理容、美容、訪問集金人（新聞、牛乳）、弁当等のデリバリー担当（配達）。

○事務局

ゲートキーパーの直接的な評価は難しいと考えますが、ゲートキーパーの出前講座や研修会の際には統一したアンケート調査にて、理解度や実践できそうかを確認しています。現状は、ゲートキーパーを広く周知することを重視し、4年後の計画見直し時の市民意識調査での評価が、今後の取組の指針になると考えています。また、理美容協会には数年に一度、ゲートキーパーの出前講座を実施しておりますが、ほかの職種にも広げていけるよう啓発していきたいと考えています。

○深津委員

20歳未満が自殺を個人の自由として捉えている割合が多いことに驚きました。低学年のうちから、道徳やホームルームの時間に啓発すべきではないでしょうか。

うつ病患者を励ましてはいけないうち、というアンケートでは「はい」が約1/4ですが、常に励ましてはいけないうちではなく、回復してきた頃には励ましが支えとなることもあるので、アンケートの選択肢、または設問を場面に分けて変えた方が良いのではないのでしょうか。

ゲートキーパーは自分も知らなかったのですが、この存在や役割についてどのような形で市民に広報しているのでしょうか。30代女性の自殺率が高いので、母子健康手帳交付、児童扶養手当申請時などの対応職員は、80%ではなく、全員、ゲートキーパーを意識した対応をした方がよいと思います。コンビニやネットカフェなどにゲートキーパーを周知させるアピールはいいと思います。駅にも掲示物があると、より多くの人の目に留まると思います。

○事務局

小中学生への取組は、教育委員会と共同して活動を広げているところです。アンケートについては、参考にさせていただきます。

ゲートキーパーについては、市民向けの出前講座や民生委員などの関係機関に対して研修会を開催し、周知を図っています。また、市役所の職員に対しては、庁内職員向けのゲートキーパー養成研修を毎年1回開催し、順番に職員全体が受講する機会を設けていきます。